

令和5年度9月定例記者会見 次第

日時：9月25日（月）13時30分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕 朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社

〔糸島市〕 市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

①職場から健康づくり！世界一周チャレンジウォーク

【市長発表】
健康づくり課

②邪馬台国畿内説のゆくえに迫る！

伊都国歴史博物館秋季特別展「ヤマトと伊都国」

文化課

3 懇談・その他

引き続き、糸島市防犯カメラ付き自動販売機設置に係る協定締結式を実施しますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

【時間】定例記者会見終了後

【会場】糸島市役所第1委員会室

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：10月24日（火）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

職場の仲間と健康づくり！ 世界一周チャレンジウォーク

1 事業内容・目的

「健康の重要性は感じているが、身体症状がなく、多忙なため、健康づくりに本格的に取り組めない」。そんな、働く世代の人たちが、健康づくりに取り組むきっかけづくりとして、職場単位のウォーキングラリーを実施します。

期間中、参加者全員で歩行距離の合計「40,000km」（世界一周相当）を達成することを目標に、職場の仲間とチームで楽しくウォーキングしながら、健康づくりの実践・定着をめざします。

2 対象者(参加条件)

- 市内在住の20～64歳の人 300人
- 同じ職場の3人以上で1チーム結成すること
 - 職場から複数チーム参加可
 - 職場の所在地は不問



3 実施方法

- スマートフォンで「ふくおか健康ポイントアプリ」をダウンロードし、メニュー内の「ウォーキングラリー」から「職場チームで世界一周チャレンジウォーク～糸島市～」を選択し、チーム作成・参加。
- 11月の1カ月間で歩数を競い、上位3チームを含む合計10チームに賞品贈呈

- ◆エントリー期間
10月1日(日)～31日(火)
- ◆ウォーキングラリー実施期間
11月1日(水)～30日(木)



4 その他

- 職場でのエントリー以外にも、個人エントリー枠あり。ただし、賞品贈呈の対象外。

働く世代で挑戦!

世界一周チャレンジウォーク

～みんなで40,000km達成なるか!?～

運動不足になりがちな働く世代を応援するために、職場単位のウォーキングラリーを企画しました。そこで300人の仲間を募集します。

目標は働く世代のみなさんで世界一周(40000km)です!

一緒に働く仲間とともにチャレンジしてみませんか?

エントリー受付期間

10.1日(日)～10.31日(火)

ウォークラリー実施期間

11.1日(水)～11.30日(木)



ルール

職場3人以上1チームで、
チーム名に「〇〇会社 △△チーム」と名付けて参加

参加条件

- ①1チーム3人以上であること
(チーム全員が同じ職場であること)
※同一事業所から複数チームの参加は可能
※職場の所在地は問いません
- ②10月1日時点で20～64歳であること
- ③アプリ内の利用者情報の住まいが「糸島市」であること

チームで参加して
糸島特産賞品をゲット!

10チームに
プレゼント!



※写真はイメージです



まずはアプリを
ダウンロード



詳しくは糸島市
ホームページへ

お問い合わせはこちら
糸島市 健康づくり課
TEL:092-332-2069



個人での参加
も可能です

賞品は対象外です



- ・参加条件を満たさないチームはランキングから対象外とします。
- ・ウォーキングラリー開始後(11月1日以降)は新規での参加、参加の中止、チームの変更はできません。
- ・ウォーキングやランニング以外で歩数を取得する等、不正利用が確認された場合、「ふくおか健康ポイントアプリ」利用規約第9条(禁止事項)に基づき、当該利用者のアプリの利用を停止するほか、チームをランキングから除外する可能性があります。

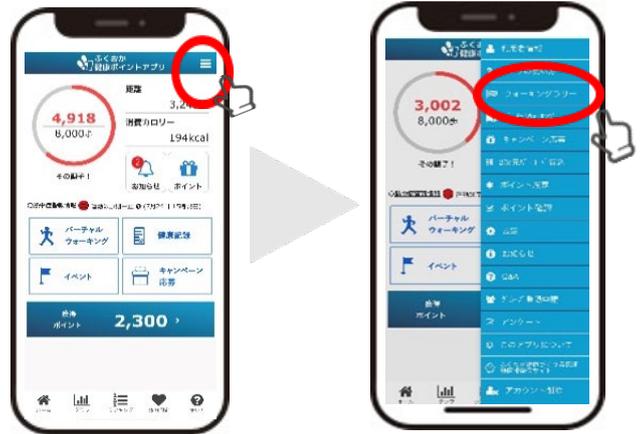
1

アプリに登録



2

画面右上のメニューから「ウォーキングラリー」をタップ



「職場チームで世界一周チャレンジウォーク～糸島市～」を選択

3

まずは代表者がチームを作成



「チーム名称」・「パスワード」を入力し「申請」をタップして設定する。
例：〇〇会社△△課チーム等

※「チーム」は、通常ランキングに表示されている「グループ」とは異なります。
チームのどなたかが、あらかじめチームを作成する必要があります。

※チーム名称は事業所・団体の名称としてください。
同一事業所から複数のチームが参加される場合は名称が同じにならないよう注意してください。
※パスワード(任意の数字4～8桁)はチームに参加するときが必要となるので、忘れないようにしてください。

4

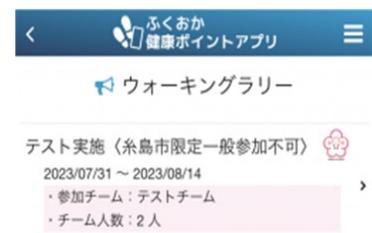
チーム申請ができれば「選択」をタップする。
チーム検索して「参加する」



検索結果が一覧で表示されるので、参加するチームをタップし、パスワードを入力。入力後「参加する」ボタンをタップ

5

登録完了！



個人で参加の方は
「個人で世界一周チャレンジウォーク～糸島市～」を選択してください

令和5年度伊都国歴史博物館秋季特別展

「『邪馬台国畿内説』のゆくえヤマトと伊都国」

令和5年10月7日（土）～11月26日（日）

令和5年度の伊都国歴史博物館秋季特別展として、下記のとおり「『邪馬台国畿内説』のゆくえ ヤマトと伊都国」展を開催します。

記

1 展示会であつかう時代背景

「邪馬台国」はどこにあったのか。江戸時代から続く邪馬台国論争は、いまだ決着していません。その候補地は日本各地に散在し、東南アジアやエジプトなど海外にも進出しています。このうち、有力なものとして「九州説」と「畿内説」などが挙げられます。

【盛り上がる「九州説」】

今年6月、吉野ケ里遺跡のこれまで未発掘だった「謎のエリア」で石棺墓が発見され、「卑弥呼の墓発見か」と期待が高まり、内部調査の様子が連日熱く報道されました。

【最有力候補！？「畿内説」】

今から14年前、畿内説の有力候補地である纏向遺跡（奈良県桜井市）で、卑弥呼の時代と合致する3世紀前半の大型建物4棟が発見されました。整然と並び建つ様相から、「女王卑弥呼の宮殿」と称されています。

【伊都国も関与？「東遷説」】

邪馬台国は元々、北部九州にあり、東へ移動して畿内に至ったとする説。奈良盆地では弥生時代の有力者墓、特に「王」の墓は未発見で、伊都国など北部九州では「王」が存在していたことがわかっています。そこで、権力が東へ移り、政治的空白地だった奈良盆地で邪馬台国または王権を打ち立てたとするものです。

2 展示会の内容

特別展では、邪馬台国畿内説の有力候補地である「纏向遺跡」と、最大の拠点集落である「唐古・鍵遺跡」（奈良県田原本町）の出土品と発掘調査成果を紹介し、「纏向遺跡出現前の奈良盆地の弥生時代の情勢はどうだったのか」「他所から勢力が入り込む隙があったのか」などについて検証します。

また、ヤマトと伊都国を比較し、当時の畿内と北部九州の情勢について解説し、「邪馬台国」とその時代について再考をうながします。

3 主な展示品

纏向遺跡、唐古・鍵遺跡等、奈良盆地の主要遺跡から出土した考古資料計 130 件（うち、重要文化財約 60 点）を展示します。

褐鉄鉢容器とヒスイ勾玉 唐古・鍵遺跡出土/重要文化財

全国唯一発見されている「褐鉄鉢容器」。精良な粘土を核に、これを包み込むように鉄分が固まった自然鉢物です。発見時には褐鉄鉢を容器とし、美しいヒスイの勾玉 2 点が納められていました。この状況から「弥生の宝石箱」と称されています。

また、容器になる前、中にあった粘土は、仙薬として珍重されていたと考えられ、唐古・鍵遺跡でくらしていた弥生人は、中国大陸の神仙思想の影響を受けていたこともわかります。



絵画土器(楼閣/有段口縁壺) 唐古・鍵遺跡出土品/重要文化財

弥生時代の土器や木器などには、ごくまれに絵が描かれています。一般に弥生絵画と呼ばれていますが、全国最多の出土量を誇るのが唐古・鍵遺跡です。

題材は、建物や船、人物、鹿、魚、スッポン、鳥などさまざまです。建物の中には「楼閣」とされる屋根飾りのついた高層のものがあります。唐古・鍵ムラに実際に建っていたと推定され、現在は遺跡のシンボルとして建物が復元されています。



木製仮面 纏向遺跡出土品/奈良県指定文化財

約 26×21 cm、人の顔を隠せる大きさの仮面。農具である鋤を巧みに加工し、柄を差し込む穴を口とし、鼻の穴や目、眉まで表現しています。

紐を通す穴が無いことから、手持ちで顔の前にかざしたのではないかとされています。まつりなどの場面で「神の顔」として用いられ、豊作を祈ったのかもしれない。



4 特別講演会

特別展期間中、テーマに沿った専門家を講師としてお招きした講演会を開催します。

《特別講演会》

特別講演会① 10月21日(土) 14時～

演題 「弥生時代の木材戦略」

講師 鶴来 航介氏(福岡市埋蔵文化財課)

特別講演会② 11月23日(木・祝) 14時～

演題 「1・2世紀の近畿と九州」

講師 常松 幹雄氏(福岡大学人文学部非常勤講師)

【共通事項】

- ・ 受講料 500円(特別展観覧料を含む)
- ・ 定員 100人(要事前申し込み、先着順)
- ・ <①は残席あり> <②は残席わずか>
- ・ 会場 伊都国歴史博物館4階研修室(糸島市井原 916)
- ・ 申込方法 伊都国歴史博物館窓口または電話(092-322-7083)申し込み

5 その他

料金、休館日などの詳細は別紙チラシ参照

【問い合わせ先】

糸島市立伊都国歴史博物館(地域振興部文化課博物館係)

担当:江野、荻原(おぎはら)

電話番号:092-322-7083

メール:itohaku@city.itoshima.lg.jp

伊都国とヤマト

『邪馬台国畿内説』のゆくえ

令和5年度 伊都国歴史博物館秋季特別展

卑彌呼

邪馬壹國



令和5年

10.7(土) ▶ 11.26(日)

月曜休館 ※ただし、10月9日(月・祝)は開館し、翌10月10日(火)が休館
開館時間/午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

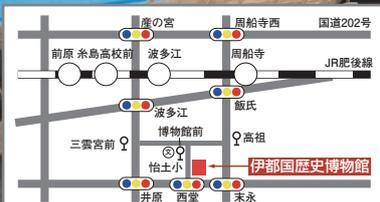
【会場】伊都国歴史博物館 1階展示室

【観覧料】大人500円(団体400円) 高校生200円(団体150円)

※団体割引の適用は有料入館者20名以上。※中学生以下無料

※身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳等を提示した場合、付添人1人を含め無料。

主催/糸島市立伊都国歴史博物館 糸島市



【関連イベント等】

シンポジウム 10月29日(日)10時～15時40分(9時開場)

令和5年度 糸島市・桜井市・田原本町共催シンポジウム

「卑彌呼のクニを探る-検証 邪馬台国畿内説と伊都国」

奈良県桜井市および田原本町と本市が共催するシンポジウムです。弥生時代から古墳時代にかけてのヤマトと伊都国との関連について探っていきます。

コーディネーター:常松幹雄氏(福岡大学人文学部非常勤講師)

パネリスト:藤田三郎氏(田原本町埋蔵文化財センター長)

橋本輝彦氏(桜井市立埋蔵文化財センター所長)

角 浩行(伊都国歴史博物館学芸員)

会場:伊都文化会館大ホール

定員:600名 申込不要 ※公共交通機関のご利用をお願いします。

特別講演会①10月21日(土)14時～15時30分

「弥生時代の木材戦略」

講師:鶴来航介氏(福岡市埋蔵文化財課)

特別講演会②11月23日(木・祝)14時～15時30分

「1・2世紀の近畿と九州」

講師:常松幹雄氏

会場:伊都国歴史博物館4階研修室

定員:100名(要事前申し込み、先着順)

受講料:500円(特別展観覧料含む)

【申し込み方法】9月1日(金)より窓口または電話による申込み受付開始

【申し込み・問い合わせ】伊都国歴史博物館 TEL092-322-7083

糸島市立 伊都国歴史博物館

所在地:福岡県糸島市井原916 TEL092-322-7083

ヤマトと伊都国



弥生の宝石箱
褐鉄鉢容器とヒスイ勾玉
(唐古・鍵遺跡出土)
全国唯一の出土品。自然鉢物
である褐鉄鉢を容器とし、中に
美しいヒスイ勾玉2個が納めら
れていました。弥生の宝石箱と
称されています。

「邪馬台国」はどこにあったのか。江戸時代から続く邪馬台国論争は、未だ決着していません。その候補地は日本列島各地に散在し、中には国外にあったとする説も。このうち、有力なものとしては「畿内説」と「九州説」があげられます。

本展では、畿内説において「邪馬台国」の本拠地とされている奈良盆地の主要遺跡から出土した、重要文化財を含む貴重な品々を一堂に公開します。あわせて、伊都国の遺跡や出土品とも比較し、当時の近畿と北部九州の状況も解説します。

邪馬台国はヤマトにあったのか、否か。ぜひ、その目でご確認ください。



まつりで着用?木製仮面(纏向遺跡出土)
木製の仮面としては国内最古級の出土例。農具である鋤を巧みに加工して作っており、柄を差し込む穴を口とし、目・鼻・眉を表現しています。まつりなどの場面で、顔の前にかざし、用いられたのではないかと考えられています。



奈良盆地の拠点集落「唐古・鍵遺跡」
奈良盆地のほぼ中央部、奈良県田原本町にある弥生時代の大規模集落遺跡。唐古池のほとりには遺跡のシンボルとして絵画土器を元に復元された楼閣が建っています。



弥生絵画の世界
土器や木器に絵が描かれることがあり、通称「弥生絵画」と呼ばれています。全国で最多の出土量を誇るのが唐古・鍵遺跡で、当時の風景や弥生人の精神世界を描いたのではないかと考えられています。

絵画土器(建物)

邪馬台国畿内説の有力候補地「纏向遺跡」
ヤマト王権発祥の地であり日本最古の「都市」遺跡とされています。畿内説における邪馬台国の最有力候補地としても有名。一直線に並ぶ4棟の建物が発掘され、卑弥呼の館跡発見かと話題になりました。

糸島市立 伊都国歴史博物館

〒819-1582 福岡県糸島市井原916番地 TEL092-322-7083

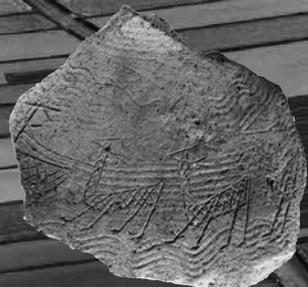
■バス

JR筑肥線周船寺駅からミニバス川原線雷山の森行き、伊都国歴史博物館前バス停下車徒歩2分。または、JR筑肥線波多江駅からミニバス井原山線井原山行き、伊都国歴史博物館前下車。

■車

【福岡市方面から】九州自動車道福岡インターまたは太宰府インターから福岡都市高速道路経由西九州自動車道今宿インターを降り、国道202号飯氏交差点を左折、約8分。

【唐津市方面から】国道202号波多江交差点を右折、約8分。



絵画土器(鹿)

特別展開催 糸島市・桜井市・田原本町共催シンポジウム

「卑弥呼のクニを探る―検証 邪馬台国畿内説と伊都国」

特別展開催に関連し、奈良県桜井市、田原本町と連携したシンポジウムを、九州で初めて開催します。桜井市・田原本町が全国に誇る、纏向遺跡（桜井市）、箸墓古墳（桜井市）、唐古・鍵遺跡（田原本町）と、本市の三雲・井原遺跡等についてディスカッションを行います。

シンポジウムには、実際に発掘調査に携わった各遺跡の第一人者が登壇。調査担当者ならではの詳しい遺跡の解説が聞ける機会です。

また、討論の中では、邪馬台と伊都国との関わりや邪馬台国畿内説の行方についても触れる予定です。皆さまぜひ、ご参加ください。

《糸島市・桜井市・田原本町共催シンポジウム》

○ タイトル 「卑弥呼のクニを探る―検証 邪馬台国畿内説と伊都国」

○ 日 時 10月29日（日） 10時～15時40分

○ 内 容

- ・基調報告① 「邪馬台国と唐古・鍵遺跡」藤田 三郎氏（田原本町埋蔵文化財センター長）
- ・基調報告② 「邪馬台国と纏向遺跡」橋本 輝彦氏（桜井市立埋蔵文化財センター所長）
- ・基調報告③ 「邪馬台国と伊都国」角 浩行（糸島市立伊都国歴史博物館学芸員）
- ・シンポジウム「卑弥呼のクニを探る―」

コーディネーター 常松 幹雄氏（福岡大学人文学部非常勤講師）

パネリスト 藤田 三郎氏

橋本 輝彦氏

角 浩行

○料 金 無料

○定 員 600人（事前申し込み不要）

○会 場 伊都文化会館大ホール（糸島市前原東2-2-7）

※当日は十分な駐車場がございません。公共交通機関のご利用をお願いします。

【登壇者紹介】



常松 幹雄氏

(福岡大学人文学部非常勤講師)

福岡市にて、吉武高木遺跡などの発掘調査に従事。弥生絵画や青銅器に造詣が深く、現在は大学講師として後進の育成に努める。



藤田 三郎氏

(田原本町埋蔵文化財センター長)

奈良県田原本町にて唐古・鍵遺跡等の遺跡の発掘や文化財調査・保護・活用に従事。文化財保存課長を経て現職。



橋本 輝彦氏

(桜井市立埋蔵文化財センター所長)

奈良県桜井市にて、弥生時代終末から古墳時代前期にかけての土器や墳墓など、纏向遺跡の学術調査担当を経て、現職。



角 浩行

(伊都国歴史博物館学芸員)

旧前原町に入庁後、三雲・井原遺跡をはじめ、糸島市内の遺跡の発掘や文化財調査や保護に従事。現在は、伊都国歴史博物館の学芸員として文化財の普及・啓発・研究に尽力。

【問い合わせ先】

糸島市立伊都国歴史博物館(地域振興部文化課博物館係)

担当:江野、荻原(おぎはら)

電話番号:092-322-7083

メール:itohaku@city.itoshima.lg.jp

卑彌呼

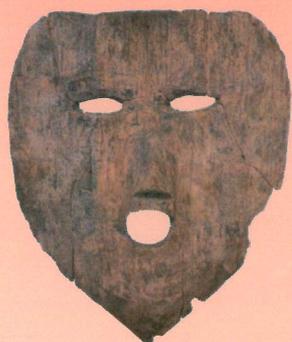
福岡県糸島市・奈良県桜井市・田原本町共催シンポジウム

卑彌呼のクニを探る

検証 邪馬台国畿内説と伊都国

邪馬台国

伊都国



2023年 10月29日(日) 10:00 ▶ 15:40

場所

伊都文化会館大ホール
福岡県糸島市前原東2丁目2番7号

定員

600名(申込不要)

※伊都文化会館には十分な駐車場がないため、公共交通機関でお越しください。

9:00 開場

10:00~ 開会挨拶

月形 祐二 (糸島市長)

10:15~ 基調報告

「邪馬台国と唐古・鍵遺跡」

藤田 三郎 (田原本町埋蔵文化財センター長)

11:00~ 基調報告

「邪馬台国と纏向遺跡」

橋本 輝彦 (桜井市立埋蔵文化財センター所長)

11:45~ 昼休憩

12:35~ 基調報告

「邪馬台国と伊都国」

角 浩行 (伊都国歴史博物館学芸員)

13:30~ 共催者挨拶

松井 正剛 (桜井市長)

森 章浩 (田原本町長)

13:50~ シンポジウム

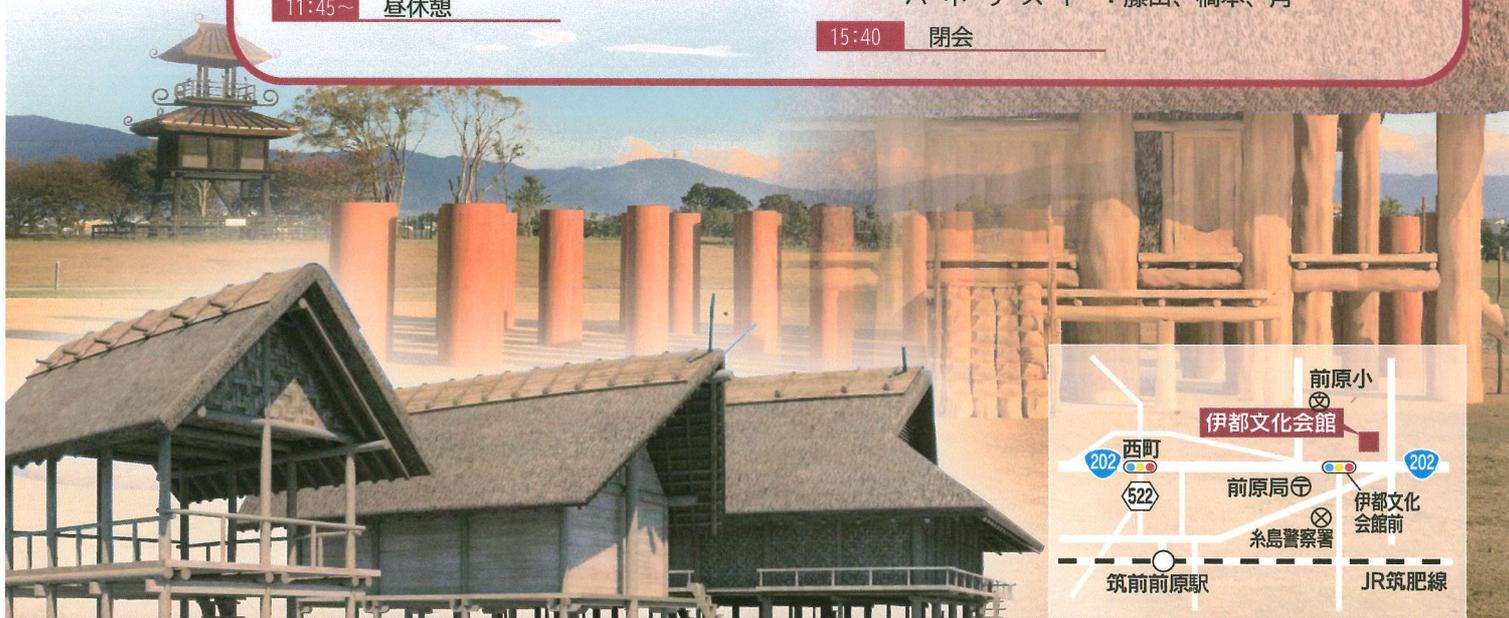
「検証 邪馬台国畿内説と伊都国」

コーディネーター：常松 幹雄 氏

(福岡大学人文学部非常勤講師)

パネリスト：藤田、橋本、角

15:40 閉会



主催：糸島市・桜井市・田原本町

お問い合わせ先

糸島市立伊都国歴史博物館

所在地：福岡県糸島市井原916 TEL092-322-7083